

「野洲川の取組方針」に基づく平成 29 年度の取組内容

（●：モデル市としての取組 ○：モデル市の取組状況や国・県の支援等を受けて実施する取組）

番号	取組内容	草津市	守山市	栗東市	野洲市	湖南市	近江八幡市	甲賀市※注
----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-------

①逃げ遅れをなくすための避難行動、長期的な避難のための取組

■避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等

C	広域的な連携に資するタイムラインへの見直し	●	●	●	●	●	○	
---	-----------------------	---	---	---	---	---	---	--

■ハザードマップの作成・周知等

D	想定最大規模洪水の洪水浸水想定区域を考慮したハザードマップの更新（避難経路の追加等）および周知	●						
E	長期間に及ぶ浸水継続地域、野洲川上流や日野川等の氾濫も想定した広域的な避難計画の作成	●	●	●	●	●	○	
G	逃げ遅れをなくすため、高齢者及び避難行動要支援者の避難計画の作成	○	○	●	○	○	○	
G	避難誘導マニュアルの作成	継続	継続	継続	継続	継続		

■防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充

H	防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組	継続	●	継続	継続	継続		
H	「わが家の避難カード」の作成	継続	継続	継続	継続	継続		
H	小学生等を中心とした避難経路の安全利用点検	継続	継続	継続	継続	継続		
H	地域住民と連携したサイクリングによる避難経路・野洲川周辺の現地調査	○	○	○	○	○		

■避難行動のための情報発信等

F	避難情報を各世帯へ確実に届けるため防災行政無線等の普及（無線のデジタル化等）	継続	継続	継続	継続	継続		
F	避難情報を対象者へ確実に届けるためにケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスや SNS の活用等	継続	継続	継続	継続	継続		

②確実な避難時間の確保、浸水被害軽減のための水防活動の取組

■水防体制の強化

I	水防団員や消防団員の募集の強化	継続	継続	継続	継続	継続		
I	自主防災組織の活用、強化（組織の育成や立ち上げサポート等）	継続	継続	継続	継続	●		
I	水防技術に関する勉強会の実施	継続	継続	継続	継続	継続		
J	市を越えた水防訓練の検討		●		●			
J	防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行える MCA 無線の整備	継続	継続	継続	継続	—		

■水防活動支援のための情報公開、情報共有

K	重要水防箇所の情報共有と関係市による共同点検（国管理区間）	継続	継続	継続	継続	継続		
K	重要水防箇所の情報共有と関係市による共同点検（県管理区間）	○	○	○	○	○		

③生活再建、社会経済活動を一刻も早く回復させるための復旧活動の取組

■排水活動及び施設運用に関する取組

M	基地被災時を想定した衛星通信車や対策本部車を利用した訓練の実施	●	●	●	●			
M	浸水が 4 週間以上に及ぶ湖岸地域の早期復旧に資する資機材の広域的な輸送計画の作成	○	○	○	○	○		
M	広域的に資材を運用するための調整の実施	○	○	○	○	○		

 ：懇談会全体の取組 ：国または県と協働した取組

※注 県管理区間の取組方針策定とあわせて平成 29 年度から検討を進める。